

ふるさと歴史散歩

【第114回】 府中町の食文化

年中行事と食べもの

◆牛をろう祭

鎌倉時代、今の松崎八幡宮跡から埃宮、変電所に至る道の西側および鹿籠からマツダまでの多くは海であった。その海は江戸時代頃から埋められ続け、大正時代には、山から川土手にレールがひかれ、トロツコで土砂が運ばれていた。そのほとんどが田畑になり雨が降ると塩害で作物が育たない。そのぬかるんだ田に牛を入れると埋もれるので、人力で作業していた。

稲刈りが済むと田の土の三分の二を掘り下げて、残り三分の一に積み上げて高畝栽培で野菜を育てていた。牛を飼って農作業する家が山裾の山田、御衣尾地区に多く、牛をろう行事が多く残されていた。

◆牛祭り

「全国歳時辞典」には、安芸の国、府中山田には、旧暦二月一日は「一日正月」として全国的に珍しい牛祭りが

七百年前（鎌倉時代中期）から伝承されていると記載されている。

年明けの農閑期を利用しその年の豊穡を祈念した「稲生祭（牛祭り）」が盛大に行われていた。これは、各地で行われる秋の収穫祭とは異なつた特徴をもっていた。現在は多家神社春の大祭の折、不定期に山田保存会によって行われている。その時に使われていた張り子の牛が、歴史民俗資料館に展示されている。

◆牛王田祭

京都近江神社の「馬頭観音」の馬の神を祀る御田植祭と同様に、牛の神を祀る「牛頭観音」の祭であった。

五月、榎川上流の大歳神社あたりに、共同の苗代田があった。その場所近くに牛王田橋が残っている。

◆さばらい

田植えの終わった頃、大潮の良い日を選び、赤い布で作った首玉を牛の頭に、さる

ぼぼ（魔除けの猿の人形）を四隅につけた飾り布を牛の背中に飾りつけ、近所で連れだつて、土橋下から海（現マツダあたり）に牛を泳がせに行っていた。牛につく虫、サバエ（ウンカ・ダニ）を水中で窒息死させ、払い落とす素朴な防虫対策であった。矢賀村からも、同じように牛を連れだつて列をなして来ていた。子供たちは、牛の尻尾につかまり一緒に泳いでいた。また、この日、おはぎを作り牛にも食べさせていた。

府中町文化財保護審議会委員

秋山 榮子



牛祭り



正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター（八幡四丁目 1-1） ☎ 286-3266



●ゴミ出しはルールを守りましょう

- ❖ ごみは、必ず収集日の午前 8 時 30 分までに、決められたものを正しく分けて、決められた場所に出してください。
- ❖ 生ごみは、水分をよく切って出してください。十分な水切りは、焼却炉の燃焼効率を高め、経費の節減になります。



●雨の日のごみの出し方は

- ❖ 新聞・雑誌、ダンボールは、袋の中には入れずに、ひもで縛ってください。雨にぬれてもかまいません。
- ❖ 衣類は、雨にぬれるとカビが発生しやすくなり、再生利用できなくなりますので、袋の口をしっかりと縛るか、天気の良い日に出してください。

●家電 4 品目は適正に処分しましょう

家電 4 品目とは、エアコン・テレビ（ブラウン管・液晶・プラズマ）・冷蔵庫（冷凍庫を含む）・洗濯機（衣類乾燥機を含む）です。不要になった家電 4 品目は、収集できませんので、ごみステーションには出さないでください。処分方法は、「平成 25 年度家庭ごみの正しい出し方」12 ページをご覧ください。

冊子「平成 25 年度家庭ごみの正しい出し方」

家庭ごみの収集日や分別方法は、「平成 25 年度家庭ごみの正しい出し方」をよく読んで、間違わないようにしてください。この冊子は広報ふちゅう 3 月号と一緒に各家庭に配布しています。また次の場所で受け取ることができるほか、府中町ホームページ（トップページ＞くらしの情報＞ごみ）にも掲載しています。

【配布場所】 役場（2 階住民課、4 階環境課）、環境センター、府中公民館、南公民館、福寿館、南交流センター、くすのきプラザ、ふちゅう情報プラザつばき館（イオンモール広島府中内）

ごみの不法投棄は、犯罪です！
不法投棄を目撃した人は、警察に通報してください。

ごみを出す時間に気をつけてください！
前日の夜や早朝に出すとカラスが見つけて荒らすことがあります。